

菊池市議会報告会



平成30年度議会報告会「意見交換会」(菊池市文化会館小ホール)

Vol.56 10月臨時会・12月定例会  
平成31年2月1日号

きくち

(題字/泗水東小学校6年 岩本 那菜さん)

議会だより

トピックス

議会報告会開催

P16~18

一般質問

14人が市政を問う!

P8~15

可決

常任委員会報告

P5~7

平成30年度一般会計補正予算

P4

平成30年  
第3回  
臨時会

この臨時会では、財産の取得について（小型動力ポンプ積載車7台）が提案され、審議の結果、原案のとおり可決しました。

開催日：10月22日（月）

平成30年  
第4回  
定例会

この定例会では、平成30年度菊池市一般会計補正予算をはじめ、特別会計補正予算、条例など53議案が提案されたほか、請願2件、陳情1件も慎重に審議しました。また、報告が7件ありました。追加議案として意見書案1件、決議案1件が提出されました。

審議の結果、決議案第2号を除き、原案のとおり可決・採択しました。決議案第2号は否決となりました。

また、熊本県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙が行われ、猿渡美智子議員が選出されました。

主なものは以下の付議事件一覧及び審議結果表のとおりです。

開催日：12月3日(月)～21日(金)

## 平成30年第4回定例会における主な付議事件一覧及び審議結果表

議案番号	議案名	結果
議案第 97号	消費税法等の一部改正に伴う市民環境部関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第 98号	消費税法等の一部改正に伴う健康福祉部関係条例の整備に関する条例の制定について (P5・6参照)	原案可決
議案第 99号	消費税法等の一部改正に伴う経済部関係条例の整備に関する条例の制定について (P6参照)	原案可決
議案第 100号	消費税法等の一部改正に伴う教育部関係条例の整備に関する条例の制定について (P5参照)	原案可決
議案第 101号	きくちふるさと水源交流館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 102号	きくち暮らしお試し住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 103号	菊池市行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 104号	菊池市西部市民センター条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第4回定例会 議案第 105号	菊池市ふるさと創生市民広場条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 106号	菊池市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 107号	菊池市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 108号	菊池市雇用促進住宅七城宿舎駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 110号	菊池市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 111号	菊池市宮グラウンド条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
請願第 1号	国会に憲法改正の早期実現を求める意見書提出についての請願	採択
意見書案第1号	国会に憲法改正の早期実現を求める意見書 (P3参照)	原案可決
決議案第 2号	菊池市中央図書館の閲覧用椅子購入に関する調査に関する決議	原案否決

# 賛 否 表

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 除は除斥

議 案	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	13	14	15	16	17	18	19	20
	結 果	表 決 数 賛成 反対	田 中 教 之	福 島 英 徳	緒 方 哲 郎	後 藤 英 夫	平 直 樹	東 奈 津 子	坂 本 道 博	水 上 隆 光	猿 渡 美 智 子	松 岡 讓	荒 木 崇 之	工 藤 圭 一 郎	城 賀 慶 一	大 水 上 彰 澄	二ノ文 伸 元	泉 田 栄 一 朗	木 下 雄 二	山 瀬 義 也	
			賛成	反対																	
議 案 第 97号	可決	18 対 1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 98号	可決	18 対 1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 99号	可決	13 対 6	○	●	○	○	○	●	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	●	○	●
議 案 第 100号	可決	18 対 1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 101号	可決	18 対 1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 102号	可決	18 対 1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 103号	可決	18 対 1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 104号	可決	18 対 1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 105号	可決	18 対 1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 106号	可決	18 対 1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 107号	可決	18 対 1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 108号	可決	18 対 1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 110号	可決	18 対 1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 111号	可決	18 対 1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請 願 第 1号	採択	15 対 4	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○
意 見 書 案 第1号	可決	15 対 4	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○
決 議 第 2号	否決	4 対 15	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	○	●

※除斥：議案と一定の利害関係を持つ議員は、当該議案の審議・採決に参加することができない。  
上記以外の議案は、全会一致で可決しました。

## 菊池市議会の声を国へ要望

### 国会に憲法改正の早期実現を求める意見書（抜粋）

現憲法が昭和22年5月3日に施行されて以来、今日に至るまでの約70年間にわが国を巡る内外の諸情勢は劇的に変化を遂げている。国民が現憲法と現実との乖離の解消を望んでいることは、過去の大半の各種世論調査において、憲法改正の支持が過半数を上回っていることから明らかであり、各政党・各報道機関・民間団体からも具体的に改憲案が提唱されている。

成文憲法を持っている世界各国では現実に合わせるための、憲法改正を幾度も行っており、日本国民が憲法規定の是非を自らが判断する国民投票の機会を一度も得られないままの現状を解消することは、国権の最高機関として国民から国政を付託されている国会の責務である。

よって国会におかれては、下記の項目を実行されるように強く要望する。

- 1 憲法改正案に対して国民が判断できる機会を早急に設けるため、両院の憲法審査会において憲法改正案を早期に作成し、次期国政選挙までに国民投票を実現すること。

## 平成30年度一般会計補正予算（第5号） 可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億2,292万2,000円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ301億7,503万9,000円とするものです。

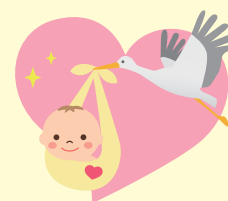
### 主な補正内容

#### ○すくすく子宝祝金事業 150万円

多くの子が出生することを祝福し、児童の健やかな育成及び市の活性化を念願して、菊池市すくすく子宝祝金を支給し、併せて少子化対策の一環として多子世帯を支援することを目的としています。今回の補正は、出産予定による支給見込み数の増により増額するものです。

平成30年9月末現在の実績：第3子38人、第4子9人、第5子4人、第6子以降3人

- ・第3子：現金10万円
- ・第4子：現金12万円＋めぐるん券3万円
- ・第5子：現金15万円＋めぐるん券5万円
- ・第6子以降：現金20万円＋めぐるん券10万円



#### ○エコヴィレッジ旭管理経費 1,566万円

エコヴィレッジ旭の適正な運転管理及び可燃ごみを固形燃料としてリサイクルすることを目的とし、市民の可燃ごみを適正に処理するため、安全かつ円滑な運営を行うもので、今回の補正は、灯油単価の上昇及び冬季における気温低下に伴う、乾燥に必要な使用量の増加により増額見込みとなるものです。

#### ○農業水利施設保全合理化事業 1,229万5,000円

各地区の水路等は約40年が経過しているため老朽化が著しく、水路の傾き、壁面の老朽化による漏水、破損が地区全体に見られます。応急的な補修は行っているものの、施設そのものが著しく劣化しているため、早急に全面的な改修を行い、用水の安定供給、維持管理の節減を図る必要があります。そして、用水路の整備を実施することにより、農業経営の安定、向上及び効率化を図るものです。

今回の補正は、旭志中央地区、加恵本村地区の追加採択、また団体営事業（大代堰、宝永隧道）の事業採択により増額するものです。

#### ○道路橋りょう維持事業 1,542万5,000円

老朽化により、損壊した道路路面、道路施設の維持修繕、整備をすることにより、道路機能の保全を図るものです。市道の舗装、側溝等の整備、橋梁の補修を行い、市民に安心して安全な交通環境が整備されます。

#### ○施設介護サービス事業 489万1,000円

利用者や利用希望者からのニーズも高く、また、高齢者人口の増加や核家族化等により、今後も新たなニーズは増えると予想されています。

そのため、長期入所サービスについては、重度の要介護高齢者が在宅で介護を受けることが困難となった場合の長期的な受け皿として「長期入所事業」を実施し、家族等の介護負担の軽減や、本人が安定した生活を送れるようサービスを提供します。

また、短期入所生活介護サービス（ショートステイ）については、在宅要介護高齢者の心身の維持と、その介護者である家族等の身体的、精神的負担の軽減を図ります。

# 常任委員会報告

## 総務文教常任委員会

委員長／水上 隆光 副委員長／東 奈津子 委員／田中 教之、松岡 譲、工藤 圭一郎、城 典臣、大賀 慶一

### 議案第100号 消費税法等の一部改正に伴う教育部関係条例の整備に関する条例の制定について **可決**

消費税法及び地方税法の一部改正等に加え、使用料・手数料見直し方針に基づき施設運営経費の増加等や近隣施設との均衡を図りながら使用料等の見直しを行ったことに伴う条例の一部改正を行うものです。

**委員** 「消費税法等の一部改正に伴い、様々な条例の改正が行われているが、来年10月に消費税率が10%となるとほぼ決まっている中で、菊池市が改正するタイミングが早いと感じた。また、使用料の見直しも盛り込まれている。本来分けるべきであり、非常に雑な提案な気がする。近隣の状況を教えてほしい」

**執行部** 「使用料の見直しについては、中期財政試算や自主財源の確保等により見直しを行っていた経緯がある。タイミングについては、周知期間を長く取りたいためこの時期に提案した。県内の状況は、本市以外の13市では行っておらず、改正案を出す場合は3月か6月とのことであった」

**反対討論** 「1点目は市民にさらなる負担を押し付ける消費税増税にそもそも反対であること。2点目は増税の理由以外にも使用料の値上げが示されている点である」

**賛成討論** 「今回提案された説明をきちんと聞けば必要なことであり理解する」

採決の結果、議案第100号については賛成多数により可決すべきものと決定しました。

### 請願第2号 支所機能の充実に関する請願書 **採択**

合併時に掲げた「新市建設計画（均衡ある4市町村の発展）」に基づき、各支所の地域、区が衰退するのではなく、一体となって活性化し幸福度をあげるためにも、各支所（旭志・七城・泗水）への人員増員及び支所予算の確保を要望するものです。

**委員** 「人員増員が求められているが、具体的にどういう部署が減らされて困っているのか」

**執行部** 「ここでいう増員は、部署を増やすとかではなく、再任用職員については地元職員を配置するなど、充実できるような支所機能にしてほしいとして要望している」

**反対討論** 「これまでもさまざまな議論をし、利便性が悪くならないように進めてきた現実もある」

**賛成討論** 「請願は、支所の機能の充実であり、縮小に反対しているわけではない。支所の機能としては充実してほしいと考える」

採決の結果、請願第2号については賛成多数により可決すべきものと決定しました。



▲機能の充実が要望されている支所

## 福祉厚生常任委員会

委員長／猿渡 美智子 副委員長／泉田 栄一朗 委員／福島 英徳、水上 彰澄、二ノ文 伸元、山瀬 義也

### 議案第98号 消費税法等の一部改正に伴う健康福祉部関係条例の整備に関する条例の制定について **可決**

消費税法及び地方税法の一部改正等に伴い関係条例を改正するものです。主な改正内容は、平成31年10月1日からの消費税の法改正に伴い、福祉課が所管する泗水地域福祉センター、高齢支援課が所管する七城ふれあいプラザ及び菊池・七城・旭志の3つの老人福祉センターの使用料に関して、消費税を明文化するものです。議員間討議を経て、付帯意見を付けることになりました。

付帯意見 「値上げについて、議会の中では理解できるが、市民に対しては広報誌や区長会等をおすすめなどして、しっかりと説明していただきたい」

## 議案第130号 公の施設の指定管理者の指定について（菊池市菊池北小学校区放課後児童健全育成クラブ） 可決

菊池市菊池北小学校区放課後児童健全育成クラブにおける、指定管理者の指定を行うものです。

**委員** 「菊池市菊池北小学校区放課後児童健全育成クラブについて、指定管理者が保護者会から NPO 法人に変わっているが、こういった理由で今回変わったのか」

**執行部** 「保護者は仕事や育児等、かなり忙しい状態で役員を受けて運営している状況である。不慣れな中でも労務管理、補助金申請、書類作成等を行っているが、子どもが卒業すると役員も短期間で交代するため、知識や経験が継承されにくい状況であり、役員の負担が大きいことがネックとなっている。現状について何とかならないかと協議をされた結果、今回の変更に至っている」



▲菊池北小学校区放課後児童健全育成クラブ

## 経済建設常任委員会

委員長／坂本 道博 副委員長／後藤 英夫 委員／緒方 哲郎、平 直樹、荒木 崇之、木下 雄二

## 議案第99号 消費税法等の一部改正に伴う経済部関係条例の整備に関する条例の制定について 可決

改正の主な内容は、平成31年10月に予定される消費税改正に伴い外税方式にするもので、消費税改正に併せて、リバーサイドパークについては施設運営経費の増加を踏まえ温泉交流館（通称 / 温泉ドーム）の入場料の見直しを行い、四季の里旭志については、平成28年、29年と赤字経営となっているため、料金の見直しを行うものです。

**委員** 「今現在、温泉ドームでは経費削減のためにミストサウナや歩行浴の時間指定をされており、お客さんから不満を聞いている。入場者が減ってきているようだが、赤字だから値上げするという発想では本末転倒で根本的に人気なくなってしまう。近隣の施設の調査をした上でやらないと、少しでも安い施設へお客さんは逃げてしまう」

**執行部** 「近隣の類似施設の調査をしており、現行の温泉ドームより低い金額は300円で、他は400円、410円となっており、値上げ予定よりも高い状況である」

**反対討論** 「温泉ドームの値上げについての資料が市民を説得できるものではない。指定管理者が決まった後、本当に値上げしないといけないのか交渉すればよいと思う。経営努力をしっかりと行った上で、どうしても無理だったら上げるということをしてほしい。今回はまだ値上げに踏み切る段階ではない」

**賛成討論** 「現在もサウナの時間制限など経営努力をされていると感じる。利用料金は市と指定管理者でしっかり協議した上で料金設定をして、どういうサービスを提供するのか決めてもらえばいい。タイミング的にも今回上限を定める条例には賛成である」

採決の結果、議案第99号については賛成多数により可決すべきものと決定しました。



▲温泉交流館（七城温泉ドーム）

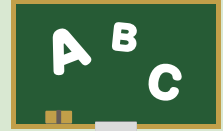
### 議案第113号 平成30年度菊池市一般会計補正予算（第5号） 可決

#### ●債務負担行為補正の外国語指導助手派遣事業 399万6,000円

菊池市3高校魅力化推進事業の一つとして実施するものであり、高校魅力化全力会議の中で、3高校より特に要望が強かった ALT 派遣事業に係る経費です。4月からの派遣を予定しており、債務負担をお願いするものです。

委員 「本事業決定までの経緯は」

執行部 「平成29年6月26日の市内3高校魅力化プロジェクト会議を皮切りとし、意見交換会や庁内で組織するプロジェクト会議の開催、高校代表、後援会代表、市内5中学校代表・保護者代表を交えた菊池市高校魅力化全力会議の開催、そして平成30年6月26日のプロジェクト会議において高校魅力アップ計画書で4つの柱を掲げ検討を行っている。さらに、9月13日の高校魅力化全力会議においては、3高校より教育の支援、特に英語教育 ALT の派遣について要請があったものである」



#### ●医療助成事業 1,779万9,000円

子ども医療費の増加見込みに対する増額補正と、未熟児養育医療助成事業の平成29年度実績に伴う国と県への返納金です。

委員 「未熟児養育医療というのは、早産などがあったということか」

執行部 「未熟児というのは、早産で体重が軽いというだけではなく、正常産であっても呼吸数が多かったりなど、いろいろな状況で病院または診療所に入院して治療が必要と医師が認めた子どものことである。その養育に必要な医療費の給付を行うものであり、平成29年度の実績としては15件の給付をしている」

#### ●環境整備基金繰入金 6,000万円

道路橋りょう維持事業に充当するものです。

委員 「環境整備基金は産廃の周辺地域の環境整備事業の財源に充てるなど用途目的が決まっているが、どの部分の改良に使われるのか」

執行部 「路線は柏木護線と迫水線に充当するもの」

委員 「金額と延長の内訳は」

執行部 「柏木護線が延長721m で3,000万円と迫水線が延長240m で3,000万円充当している」

#### ●ラブベンチ作製委託料 50万円の減額

平成30年度においてもラブベンチを公募して、いろいろなデザインをいただいたものの、最終的に作製にいたるグランプリが出なかったため、作製委託料を減額するものです。

委員 「ラブベンチは作製しなかったけれども、公募等の経費は支出されたのか」

執行部 「今回、グランプリはなかったが、その他の優秀賞や学生賞等の経費については支出している」

委員 「ラブベンチについては、今回、グランプリがなくて作製委託料が50万円減額されているが、ポスター代等の広報活動も含めて経費は掛かっており、費用対効果の観点からもこれを継続していく必要性があるのか再検討すべき」

### 議案第114号 平成30年度菊池市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） 可決

委員 「返納金（国庫支出金返納金1億2,388万5,000円）としては大きな金額だと思うが、これは一般的な額なのか。ある程度、これぐらいの金額はあり得ると考えて良いのか」

執行部 「国民健康保険の場合は1ヵ月に4億円程度が動いており、最終的に給付いただいたうちの1億2,388万5,000円が余ったということである。医療費については予測が難しく、医療費の動きにより予測として計上しているので、今回はこのようになっている」

# 14人が市政を問う

## 一般質問

質問者	質問事項	P
①城 典臣	1. 学童保育について 2. 林業振興について 3. 菊池溪谷について 4. 市が所有する美術品について	9
②松岡 譲	1. 七城地区社会資本整備事業及び運動公園整備について 2. 七城地域の地下水汚染問題について	9
③平 直樹	1. 健康推進・医療費抑制と口腔ケアについて 2. 置き勉について	10
④泉田栄一郎	1. 有害鳥獣被害防止について 2. 小中高生のネット依存について	10
⑤後藤 英夫	1. 地域の活性化について 2. #7119について 3. アーカイブについて 4. 土地改良事業について 5. 道路改良について	11
⑥猿渡美智子	1. 水道法改正について 2. 災害時の停電・断水対策について	11
⑦水上 隆光	1. 農福連携について 2. 畜産について 3. 道路について 4. 岩本住宅について	12
⑧大賀 慶一	1. 行財政改革について 2. 再任用職員と一般職員について 3. 小中一貫校教育について	12
⑨福島 英徳	1. 骨髄移植ドナーへの取り組みについて 2. イベント開催のあり方について	13

質問者	質問事項	P
⑩二ノ文伸元	1. 熊日菊池桜マラソン大会について 2. 隈府中央線と今村橋との接続について	13
⑪緒方 哲郎	1. 農業後継者について 2. 花房坂周辺公園整備について 3. 置き勉について 4. 防災について 5. 防犯カメラについて	14
⑫荒木 崇之	1. 防災無線の戸別受信機について 2. 任期付職員と再任用職員について	14
⑬東 奈津子	1. 市営住宅について 2. 教育環境の改善と防災対策について 3. ごみの分別について	15
⑭木下 雄二	1. 軽トラ朝市の再開について 2. きくち観光物産絵巻について 3. 公園整備の現状と維持管理費について 4. スペインスエカ市との交流の現状について 5. 水迫地区の活性化について 6. 公用車の車検切れに対する再発防止について	15

### 議会をインターネットで！

傍聴においでいただけない場合でも、いつでもインターネットで本会議の録画映像をご覧いただけます。

菊池市議会 議会映像

検索





## 城 典臣 議員

# 学童保育について



**城** 学童保育の現状について、施設の数、支援員の数、学童数を示せ。

また、来年度の法律改正で職員基準が緩和されるが、子どもの安全や質の低下を招かないか。

**健康福祉部長** 放課後児童クラブは12カ所あり、児童数は、平成30年度5月現在で603名、支援員の数は62名となっている。

また、法律改正等については、まだ国の指針等が示されていないので、今後の国の動向を注視して、来年度以降の準備に控えていきたい。

## 林業振興について

**城** 旧市営牧場の分収造林契約を締結したが、今後のスケジュールを示せ。

**経済部長**

既に造林の計画が菊池森林組合から森林整備センターに提出され、承認が得られている。本年度は事業区域13haを計画し、そのうち7.9haで杉の植栽、残りの5.1haについては広葉樹区域として計画しており、作業道（幅員3m、延長370m）の開設後、地ごしらえの実施、シカよけネットの設置を経て、杉の植栽となる見込みである。

次年度以降は、今後、3者で協議した上で決定し、順次整備する計画である。

## 菊池渓谷について

**城**

地震後、平成30年3月に山開きしたが、閉鎖前と山開き後の観光客数の推移及び今後の課題・問題点は。また、渓谷館の新築が決定したが、建設のスケジュールを示せ。

**経済部長**

平成30年11月末現在での入谷者数は、



▲再開した菊池渓谷

20万2,533人となり、地震前の平成27年当時と一概に比較はできないが、平成30年の入谷者数は、平成27年の99.2%となっている。

問題点については、菊池渓谷は再開したが、まだまだ整備する箇所が幾つかある。今後、菊池渓谷の創造的復興は、九州森林管理局、熊本森林管理署などの関係機関と連携を密にしながら整備を進める必要がある、整備の要望を行いながら進めていきたい。

また、渓谷館は閉谷する12月から解体工事に着手しており、建築工事は、平成31年3月から着手して、9カ月後の11月末で完成予定としている。

## 松岡 讓 議員

# 七城サッカー場の改修について



**松岡**

七城サッカー場は、芝の養生が必要なために利用できる日が少ないが、現状のサッカー場を人工芝に改修する考えはないか。

**教育部長**

改修については、工事費も非常に多額となるので、天然芝と人工芝のメリット・デメリットを整理して、利用者の利便性の向上を考慮しながら、将来を見据えたところで前向きに検討していきたい。

## 七城地域の地下水汚染問題について

**松岡**

平成26年4月に水質基準に追加された亜

硝酸態窒素が、平成28年度実施の全戸水質検査で検査対象とされなかったのはなぜか。

**市民環境部長**

平成27年度の緊急点検において、七城北地区及び南地区の複数の井戸の「硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素」の濃度が基準を超過していることが確認できたため、一番リスクの高い「硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素」の合計値の濃度について全戸調査を対象とした。

なお、平成28年8月から熊本大学との共同研究における七城地区全38行政区の代表井戸の水質検査では「亜硝酸態窒素」も定時検査をしており、これまでのところ、全て基準を下回っている。



▲七城サッカー場

**松岡**

平成18年度から旧菊池市において、住民からの要望で水道事業に着手しているが、七城区長会から要望があった汚染地域への取り組みに差異が激しく整合性がない。対応の違いについて説明を。

**水道局長**

水迫地区との事業の整合性については、飲用とできる水を確保できる環境に違いがあることから、同じ対応とはなっていないが、早急に技術的な想定を検証して、地域の水道事情に応じた手法や、負担等について、区の皆様の判断材料が可能となるように進めていきたい。

# 健康推進・医療費抑制と 口腔ケアについて



診を勧めている。

**平** この5年間の医療費の推移と健康推進の取り組みは。また、現状の課題は。

**平** 口腔ケアを進めることが健康推進・医療費抑制につながると認識しているか。歯周病は生活習慣病か。今後の複合検査の中に口腔検査を加える考えは。

**健康福祉部長** 1人当たりの医療費は、平成25年度の31万2,278円と比較して、平成29年度は34万3,241円と、約3万円増加している。取り組みとしては、生活習慣病の健診、がん検診などの受診勧奨を行い、その結果に基づき保健指導を行い、生活習慣病の改善や重症化予防に努めている。また、運動を継続していくための教室を公民館や各地区などで開催している。

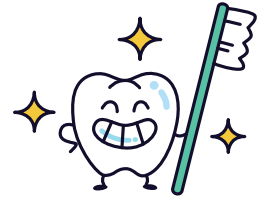
**健康福祉部長** 口腔ケアを推奨することで、心臓病や糖尿病、脳卒中、肺炎、骨粗しょう症などの発症及び重症化予防につながり、ひいては健康寿命の延長、医療費の抑制につながるかと認識している。

また、歯周病は生活習慣病の一つと認識している。複合健診時に口腔検査の実施が可能か不可能か、今後、歯科医師会など関係機関と相談したい。

**置き勉について**  
**平** 現状と課題は。教育委員会としてどこまで教科書を持って帰るかは各家庭に委ねるといふ指針を示すべきと考えるが

課題は、特定健診やがん検診の受診率が低いこととあり、対策として、通知や訪問などにより受

どうか。  
**教育部長** 現状は、小学校においては、学年が上がるにつれてランドセルが重くなり、6年生の平均値が4・7kgであった。中学校では、中学1年生の平均値8kgが一番重く、学年が上がるにつれて軽くなる傾向であった。



課題は、一般的に家庭学習の内容が限定をされ、学力低下につながる可能性があること、学校に置いていて、紛失やいたずらされる恐れがあることなどが挙げられる。  
**教育長** 各学校において、教科書やその他の教材等のうち、何を児童生徒に持ち帰らせるのか、保護者とも連携しながら児童生徒の発達段階や学習上の必要性、通学上の負担など、学校や地域の実態を考慮して判断するよう指導している。

# 有害鳥獣被害防止について



習合費、登録費等の補助金制度について問う。  
確保したイノシシの処理施設を建設し、食肉としてのジビエ料理につなげるの観光戦略にしていく考えはないか。

**泉田** 近年、農産物への有害鳥獣（イノシシ、野犬、サル、カラス等）被害が増加しているが、本市の被害状況及び対策を問う。

**経済部長** 啓発については、市のホームページや広報誌などにより、狩猟免許取得試験の情報提供を広く周知し、県や関係団体と連携しながら、さらに推進していきたい。補助については、他市町村の状況調査も踏まえて、狩猟免許取得時に要する費用等に補助することを検討している。

**経済部長** 平成29年度の農産物の被害は、合計すると646万8,000円の被害金額となっている。被害報告がないものもあることから、被害額はさらに大きいことが予想される。

対策としては、イノシシなどの有害鳥獣の捕獲とあわせて、電気柵やワイヤーメッシュ柵などの侵入防止柵の設置による支援を行っている。

**泉田** 減少しつつある捕獲隊員確保のための啓発や免許取得に必要な講

る考えていないが、市内での需要があるか調査を行いたい。



**小中高生のネット依存について**  
**泉田** スマートフォンの普及で小中高生の病的ネット依存が5年前より倍増し、全国で約93万人と深刻化している。菊池高校の部活「スマートアクティボ」は画期的活動をしている。本市の対策はあるか。

**教育長** 睡眠がとれていないなどの生活リズムの乱れが見られる児童・生徒がいる場合は、本人や保護者への聞き取りから、ネットの長時間利用によるものかの確認を行うなどして、実際に体や心の不調を訴える場合については、スクールカウンセラーや心の教室相談員などによる細かな対応を今後も継続していく。

加工処理施設の設置は、施設の建設から加工、販売まで、取り組みができる地域協議会や民間団体があるか情報収集に努め、事業を計画される場合は、市としても国、県の補助事業等の紹介や食肉の加工・流通・販売までの支援を検討していきたい。観光資源としてのジビエの活用は、現在のところ

## 後藤 英夫 議員

# 地域の活性化や救急業務について



**後藤** 本市の活性化のため、菊池神社の秋祭りはとても重要だと思いが、平成30年は10月15日、月曜日の平日開催となり、見物人が少なかった。より多くの市民が参加できるように、10月の第2日曜日に開催してはどうか。また、15日固定であれば、中学校も休みにしてはどうか。

**経済部長** 見物に訪れるお客様の数は、以前と比べると大変激減している状況にあり、特に平日の開催となると、見物客はさらに減少する。また、限府地区の商店街一帯での交通規制により、規制区域内にある病院や金融機関をご利用いただく方

にも大変ご不便をかけているという問題もある。

このようなことから、

菊池神社の御神幸行列と菊池秋まつりの通し物を休日に行うための協議を、菊池神社と平成25年以降5回ほど行っている。また、このほかにも意見交換等も行っている。

菊池秋まつりの通し物については、祭実行委員会での議論をはじめ、広く市民の意見等も伺いながら、実施方法などの検討を行うとともに、菊池神社との協議についても継続して進めていきたい。

**後藤** 本市の救急車出勤件数は年間約2,500件である。菊池郡市2市2町の中でも救急ニーズの高い自治体だと思いが、大切な命を守るため、また、高齢者のためにも総務省消防庁が推進する電話相談窓口「救急安心センター」事業



▲菊池秋まつり

「#7119」に参入してはどうか。

**総務部長** 平成28年の消防庁の通知「救急安心センター」の事業のさらなる取り組みの推進について

「#7119」によると、実施地域の単位については、スケールメリット及び相談員等の確保の点から都道府県単位での運用が望ましいため、原則として都道府県単位で実施することとある。事業の導入に当たっては、相談員の確保や多額な導入経費・維持経費も想定されるところで、本市単独での導入は厳しいと考える。広域連合と協調しながら県での導入をお願いしていきたいと考えている。

## 猿渡 美智子 議員

# 水道法改正について



**猿渡** 法改正によって、コンセッション方式による水道の「民営化」が可能になったが、市はこれを導入する考えはあるのか。

**水道局長** 本市では、水道の窓口業務などの一部を民間に委託をしているが、今回の法改正にあるような、事業全体を民営化するといった検討まで行ったことはない。水道施設の現状を踏まえ、利用者にとって良質な水道経営につながるものなのかなども分析する必要があるので、これから幅広く検討していきたい。

**猿渡** 法改正の背景に、水道管などの老朽化で維

持更新費は上がるのに、それを支える給水人口が減少しているという課題がある。市はこのことについてどう取り組むのか。

**市長** 今回の水道法改正は、人口減少に伴う水の需要の減少、水道施設の老朽化などの水道の直面する課題に対して、基盤強化を図るもので、その手法の一つに、官民連携の推進が盛り込まれているが、これを導入することが、本市水道事業に適したものなのかを十分に分析して見極める必要がある。

一方で、本市の水道施設は、老朽化に伴う更新時期を迎えており、より正確な状況を把握するためにアセットマネジメントに取り組んでいる。その結果を踏まえ、どうすれば永続的に安全安心な水道水の供給ができるかという点から慎重な検討

を行っている。



を行って、次期水道ビジョンに反映させていきたい。

**災害時の停電・断水対策について**

**猿渡** 平成30年は災害が頻発し、停電・断水が課題となった。災害時に中心的な避難所となる七城・旭志・泗水・中央の4公民館に手動の防災井戸を設置する考えはないか。

**総務部長** 避難所の生活用水を確保するために、周辺のプールや河川、また個人や民間の所有している井戸などの水利が活用できないかを含めて検討したい。

現在、公民館に隣接する支所の改修計画があるので、その中の災害対策として、自家発電設備の設置や防災井戸も含めて検討したい。

# 農福連携について



**水上** 本市において、農作業への福祉分野のかわりは、どうなっているのか。国からの方針・説明はあったか。

**健康福祉部長 就労支援**に取り組む福祉事業所が、本市には15カ所あり、このうち9カ所が農作業に取り組まれている。これまで国から指針が示されたり説明を受けたりはしていないが、平成30年1月に熊本県主催で開催された「農福連携フォーラム」に参加し、情報収集に努めている。その中で、農業と障がい者福祉の連携を図ることにより、農業の担い手不足の解消の一助になったり、障がい者の就労訓練や雇用の場としても効果

が期待されるのお話があった。

## 道路について

**水上** 県道菊池赤水線と旭志鹿本線の交差点（旧コッコファームの四差路）は、平成30年の警察届けだけで事故が8件も発生しているが、交通安全対策が必要ではないか。

**経済部長 道路管理者**と菊池警察署との間で、この安全対策について、4項目の協議が済んでいる。内容は、①速度を落とせ、または交差点注意と路面に表示し、運転者への注意喚起を行う。②車道外測線にドットラインを引き、速度の抑制を図る。③交差点4カ所にゼブラゾーンを設け、交差点を小さく見せ、速度を抑制する。④既存の停止線を引き直して位置を変更するというものである。信号機の設置については、引き続き要望して



▲県道菊池赤水線と旭志鹿本線の交差点

いきたい。

## 岩本住宅について

**水上** 旭志地区においては、合併時より800人減となっている。直近3ヶ月でも七城地区は28名増、旭志地区は46人の減となっている。岩本住宅についての今後の方針は、若者世代の住宅として進めるべきと思うが。

**建設部長** 今後について、公営住宅等長寿寿命化計画による10年間の計画では、現状を維持しながら管理運営していく方針となっている。元の全農寮の解体後の約1,100㎡の更地は、市が特定の行政事業として活用する方針はなく、本年度内には公共施設の適正管理のために売却する方針である。

# 菊池市の行財政改革について



**大賀** 今後、本市の財政状況は厳しくなることが予想されるが、これまでの行財政改革の進捗状況は。また、行財政改革への取り組みを、市長はどのように進めていくのか。

**総務部長** 第三次行政改革大綱では、「時代に即応した連携と協働のまちづくり」と「持続可能な財政基盤の確立」を目標に掲げ、26の実施項目に取り組みしており、進捗としては、実施項目の実現に向け、おおむね順調に推移している状況である。

**市長** 将来の人口構造の変化を先取りして、持続可能な財政体質に変えていくために、補助金や



取り組みはどう考えているのか。

**教育長** 玉名市の施設一体型の小中一貫校と佐賀県の大町町の義務教育学校を視察した。

利用料など一部に若干の痛みを感じることもあるかもしれないが、それは我々の世代の責任として着手をしていかなければならない。

そうしたことを市民に広く周知・説明して理解を求めていく機会を増やしていきたい。

## 大賀

本市における任用職員と非正規職員の数はどのようになっているのか。

**総務部長** 現在、任用職員として男性14名、女性6名、計20名を採用している。臨時・嘱託職員の数は、前年度の平均で349人となっており、職員全体に占める割合は約42%である。

## 小中一貫校教育について

**大賀** 教育委員会は他市の小中一貫校教育の取り組みを研修したとのことだが、その現状はどうだったか。また、今後の

大町町ではメリットとして、配属になった教職員が、小学校でもない中学校でもない義務教育学校に配属になったとの認識を持って、授業力の向上や効果的乗り入れ授業の実施、業務改善を進め、学力面の向上も見られるようになったとのことであった。

今後、先進地の取り組みを参考にして検討を重ね、学校規模適正化を見据え、本市全体としての小中一貫校のあり方を慎重に研究しながら方向性を見極めていきたい。

# 骨髓移植ドナー登録への取り組みについて



**福島** 白血病等の患者で骨髓移植等が必要としている方が、現在約4,000名いる。非血縁者間ではほとんど一致しないため、ドナー登録数を増やす必要がある。本市としてどのような啓発活動を行っているか。また啓発活動の一環として、助成制度を導入する考えはないか。

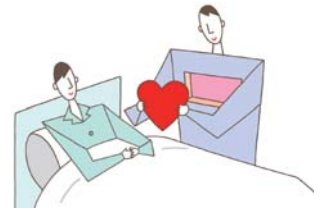
**健康福祉部長** より多くの方にドナー登録していただくために、骨髓移植について理解していただくことが重要と考えており、市役所や各支所、各公民館の窓口で啓発リーフレットを置いたり、県から依頼された啓発ポスターの掲示、広報紙やホームページへの啓発記事の掲載、及び献血時において周知を行っている。

**市長** 助成については、国レベルでこれは考えるべきものであり、国に検討してほしいという要望を平成29年に市長会として提出している。しかし、国の支援制度としての対応までには至っていない。平成30年度も、市長会として同様の要望を提出したところであり、まずはその対応状況を見守りたい。

## イベント開催のあり方について

**福島** 現在、年間90ものイベントが開催されていることに、多すぎるとの声が市民から届く。イベントの実行委員会を設けていることだが、設置していることだが、機能しているかも疑問がある。一旦イベント数を現在の半分に減らし、もっと活力のある質の高いイベントづくりを試みる必要があるのではないかと。

**市長** 市が携わる「まつり」というのは、一つには地域住民のふれあい、



交流、特に観光客を念頭に置いた集客と、それに伴う本市経済の活性化を目的としている。

毎回、まつりの各実行委員会等において、まつりの企画段階では前年の反省、終わった後にはまた反省会を開いて、いろいろな課題解決の取り組みを行い工夫をして頑張っておられる。

もしイベントが多過ぎるといふことであるなら、実行委員会等で協議して、もうやる必要がないというご意見であれば、それも尊重する。

存続させるか、廃止するかというのは、地域の人たちがどういうふうにとそのまつりにかかわろうとされているのかに集約されると思うので、市が一方的に決めるということではなくて、むしろ地域の方の声を率直に聞きたい。

# 熊日菊池桜マラソンについて



**二ノ文** NHK大河ドラマにおいて、マラソンの父と呼ばれた「いだてん」が放送される。そのことによりマラソン人気がさらに高まるものと予想されるが、本市において毎年開催される熊日菊池桜マラソンへの影響も考えられる。さらに参加人数、宿泊者数増につながる対策を示せ。

**教育部長** 大会の宿泊者増につなげる対策として、本年度から宿泊の可能性がある高い、県外のマラソン愛好者の団体や、スポーツジムなどをピックアップして、大会参加の案内を送付するなど工夫することとしている。

また、大会ホームページ上において参加者を募集する際、菊池温泉の魅力に掲載して、菊池温泉観光旅館組合へリンクを張るなど積極的にPRして宿泊を促すことはもちろんのこと、大会当日の滞在時間を少しでも長くするために、菊池溪谷等の観光ルートの提案なども同時に行っていきたい。

また、今年度もくまファンランと連携を深めることで、国内外に本市の魅力をもPRして、熊日菊池桜マラソン大会をきっかけとして、さらなる地域発展へと取り組むたい。

**二ノ文** 今村橋と隈府中央線接続について、現在の進捗状況と今後の見通しを示せ。さらに、現在今村橋方面から亘深川線まではつながっている

が、通れない状況にあるのはなぜか。また、通れるように改善できないのか。



▲昨年度の熊日菊池桜マラソン

**建設部長** 隈府中央線と今村橋をつなぐ亘深川線は、今村橋から市道亘深川線までの延長約151mの区間については施工が完了している。残りの亘深川線から隈府中央線までの約300mの区間については、現在、用地交渉を進めているところである。

完成している今村橋から亘深川線までの間の151mの区間については、警察との協議の中で、まだ開通ができないということであるので、現在、協議を進めている。

## 農業後継者について



援を行ない、県や農業委員、農業団体などと連携したサポート体制を強化したい。

**緒方** 国の支援事業等により、新規就農者は増えていると思うが、その就農者と親元就農者への支援が厳しい中、後継者確保からも支援策は必要と思う。親元就農の状況と市としての支援の考えは。

**経済部長** 本市では実践力旺盛な農業後継者の育成を図るため、市単独の補助金で新規農業就業奨励金の交付を行っている。親元就農者数は、この奨励金の平成24年度から平成29年度までの交付実績からすると、累計で101名の方が親元で就農していることになる。また、今後の取り組みとしては、財政状況等も考慮しながら引き続き新規農業就業奨励金での支



**緒方** 花房坂周辺公園整備は、これから事業が本格的に始まるが、地元の方々の意見を多く取り上げて、計画に組み込んでいくべきだと考える。市としての取り組みと、その他の公園に係る清掃等の維持管理費は年間いくらか。

**建設部長** 地元の意見を伺うため、ワークショップ等を開催し、平成31年度が用地買収、平成32年度に工事を予定している。ワークショップでの意見は、可能な限り計画の中に取り入れ、皆様の身近で親しんでいただけのような公園となるよう整備を進めていきたい。

**また、都市整備課管轄の公園数は、22カ所あり、年間の維持管理費は、平成29年度決算額で約4,700万円程度となつて**

いる。

**緒方** 11月18日に市総合防災訓練が菊之池地区において住民参加型で行われたが、問題点・課題等は。また、その対策は。

**総務部長** 課題としては、訓練に参加していた多く市民の方を増やすための対策が必要との意見もあり、次回はより多くの市民が参加できるように訓練内容を検討していきたい。

**また、その他の問題点としては、訓練当日の朝、防災行政無線の放送で、訓練開始などの放送がよく聞こえなかったとの意見があった。**

**放送が聞こえにくいところは、現地調査を行い、スピーカーの向きやハウリング防止などの対策をとっている。**

## 防災行政無線の戸別受信機について



**荒木** 旧泗水町に平成8年から設置されている防災行政無線の戸別受信機3,000台は、アナログ放送からデジタル放送へ移行したことで、国の基準により数年後には使えなくなるとのことであるが、いつまで使えるのか。

**総務部長** 無線通信規則の改正により、旧規則に基づいた免許を受けている無線機器の使用期限が、平成34年11月30日までとなっている。

**泗水地域の戸別受信機へ情報を配信している、アナログ方式の防災行政無線の親機（発信器）は、これに該当するので、一義的には平成34年11月30日が使用期限と考えられる。**

ただし、改正後の規則

内容の条件を満たしていれば、免許の再更新により、使用期限の延長が可能となるということであった。泗水の防災行政無線親機について、新規格への適否を検査したところ、新規格に合致することであった。

**使用期限の延長に当たっては、九州総合通信局の最終的な確認が必要となるので、今後、確認届出書の提出を予定している。**

**荒木** 泗水地区のアナログ戸別受信機は、住民の生活の中になくてはならないモノとして定着している。アナログ戸別受信機3,000台をデジタル戸別受信機に変更される予定はあるか。

**総務部長** 泗水地域のアナログ戸別受信機については、法改正に伴う使用期限も延長は可能というところであり、近々での交換は今のところ考えて



▲防災行政無線の戸別受信機

いない。泗水地域のみではなく、市全体で考える必要もあり、その導入費用も効率性が求められると考えている。

**また、ICTの急速な進化もあり、従来とは比較にならないほどのさまざまな情報伝達手段が開発をされている。災害は必ず在宅時に起こるわけでもないため、携帯であるスマートフォン等の活用は大変有効ではないかとも思う。**

**しかし、高齢者の皆様には、戸別受信機またはタブレット等などの据え置き型のほうが最適かもしれないので、これを組み合わせるなど、さまざまな可能性を検討して、最善の策を検討していきたい。**

## 東 奈津子 議員

# 市営住宅の安易な削減はやめるべき！



**東** 「菊池市公営住宅等長寿命化計画」では、今後、市営住宅が削減されるとの計画が示されている。市民の暮らしの実態からしても、災害に備えるという点でも市営住宅の安易な削減はやめるべき。適切な長寿命化や増設整備も検討するべきと思うがどうか。

示されており、次世代のためのまちづくりの一環として、公営住宅も最適規模に誘導していきたいと考えている。

ただ、万一、急激な社会情勢の変化などがあれば、適宜、管理戸数をその時点で見直す用意はある。

また、市営住宅の居住環境については、改善する必要もあるので、今後、内装のリフォーム工事等を行いながら、誰もが使いやすい市営住宅を目指していきたい。

## 教育環境の改善と防災対策について

**東** 災害とも言われる猛暑が今後も予想される。実質地方負担30%という国の補助制度を活用して、市内の小中学校の体育館へエアコン設置を進めていくべきと思うがどうか。



## 教育長

体育館への空調設備については、多額の設置費や維持費を要することから、現段階においては、国等の補助制度の動向を注視したい。今後、検討・研究しながら、要望を強めていきたいと考えている。

今年度、熱中症対策は非常に神経を使って、学校現場も大変であった。異常気象時には、運動を取りやめたり、あるいは体育館での集会を中止し、校内放送を活用して、空調設備がある普通教室や特別教室で行うなど、運用面での暑さの対策を行ってきた。そういう運用面での対策もさらに講じながら、今後、考えていきたい。

## 木下 雄二 議員

# 市の公用車の車検切れに対する市民への対応と今後の再発防止策は



**木下** 軽トラ朝市は中心市街地を活性化する取り組みとして約10年間開催されていたが、資金難で終了した。現在、出展者の有志の方々が、自主的に寿会館前の空き地で軽トラ朝市を再開されているが、市として今後の支援も含め対応策は。

**市長** 出店者あるいは関係者からの相談に対しては、真摯に受けとめて、商店街の賑わい創出、あるいは地域の活性化につながるように、適切な支援と協力を行っていきたい。

**木下** これまで長い間反対運動も含め迷惑をかけてきた九州産廃溶融キルン式焼却施設が閉鎖された。今後も最終処分場に伴う浸出水処理等地元水迫地区への環境整備基金の運用が必要だが、今後の活性化策は。

**木下** 市の公用車の車検切れに対しては、議会報告会等で市民より厳しい指摘をいただいているが、市として車検切れに対する市民への対応と今後の再発防止策は。

**市長** 公用車の車検切れの問題については、大変重く受けとめている。市民の皆様、市議会議員の皆様に対して、深くおわびを申し上げます。まことに申しわけございませんでした。

このような事態を招いたことを深く反省して、全庁的な公用車管理体制チェック体制をさらに強化したところである。今後、一日も早く、市民の皆様への信頼回復に努めなければならないと強く思っている。



▲有志により再開されている軽トラ朝市



## 議会報告会を開催しました

菊池市議会は、議会基本条例に基づき、市民参加の促進として、市民の意思を聴取し、議会活動を報告するために、定期的に議会報告会を開催しています。

例年、この報告会は旧市町村ごとに開催していましたが、本年度は市内の皆様すべてを対象として、11月19日に七城公民館1カ所のみで開催しました。また、新たな取り組みとして、各種団体との意見交換会を11月21日に行いました。

報告会(11/19)には、73人の市民の方に参加いただき、議会運営委員会、各常任委員会からの報告のほか、熊本地震からの復旧・復興特別委員会の報告を行いました。

会場で行ったアンケートの結果から「図書館の椅子購入について財政難にもかかわらず高価なものを購入しているとの意見もある。一方、青少年のためにゆとりの空間を提供できるという意見もある。子育て世代に手厚い財政施策を望む」「市民の税金を無駄使いしない。議会でチェックする部門を設け無駄使いを防ぐ」「菊池に住んでいても知らないこともたくさんあり勉強になった。色々な意見を聞くことの大切さを知った」「議員が何をされているかわからないという市民の声が多かった。菊池市のため頑張してほしい」などの意見をいただきました。

市民からのご意見と議会側の回答(当日回答できなかった案件)を一部掲載します。

なお、市に対するご意見・ご要望については、執行部の回答を掲載しています。

その他の内容は、市ホームページへの掲載や市の主要施設に配布しますのでご覧ください。

### 【総務文教常任委員会関係】

①入札における、市内、市外の割合は。

(回答)

#### 元請状況報告

年度	土木一式工事		建築一式工事		その他の工事	
	件数率	金額率	件数率	金額率	件数率	金額率
H29	100%	100%	100%	100%	90.8%	85.1%
H28	100%	100%	100%	100%	94.6%	98.4%
H27	100%	100%	92.0%	10.8%	91.7%	78.0%
H26	97.8%	81.6%	100%	100%	91.4%	97.1%
H25	100%	100%	100%	100%	87.1%	46.4%

※上記表は市内発注率となります。

②防災関係で、停電時の対応として手動ポンプがないと対応できないと思うが？

(回答)

市役所本庁舎は、災害時の拠点施設であるため停電時に備え、非常用発電機を設置している。そのため、上水道からの給水があれば飲料水の供給やトイレの使用は可能である。また、避難所に指定してある生涯学習センター(中央公民館)についても、非常用発電機を設置しており、上水道からの給水があれば飲料水の供給やトイレの使用は可能となる。今後、七城・旭志・泗水支所についても、災害に備え非常用発電設備等の整備について、検討を行いたい。



## 【福祉厚生常任委員会関係】

①つまごめ荘では入所待ちの方が多く状況である。私たちが求めているのは安全で安心して暮らせるまちである。現状で私たちは入れるのだろうか。この先を考えるよう要望する。また、問題は料金である。入所したくても入所できない状況がたくさん出てくると思う。

### （回答）

3年ごとに策定する介護保険事業計画では、高齢者のニーズ調査を実施している。また、同時に熊本県が県内の施設待機者を調査しており、このようなデータや情報をもとに介護サービス量等に反映させている。常に状況を把握し、必要に応じて施設整備を計画していく。

介護保険サービスは、所得に応じ、利用者負担が高額になったときに、所得状況の段階ごとの上限額を超えた分は、高額介護サービス費の支給がある。

また、市民税非課税世帯など、低所得の方が施設を利用した場合は、居住費や食費が軽減される。

②時代は100歳時代になってきている。10年前に比べて老人クラブは半分に減った。老人クラブは健康づくりにつながるし、医療費も安くなると思う。老人クラブの有無による医療費の違いは。今はAIの時代である。議会も行政も将来を見据え話をしていただきたい。

### （回答）

老人クラブの数については、10年前は103クラブ、5,200名であったが、現在では61クラブ、2,801名に減少している。老人クラブ加入の有無による医療費の比較については、加入保険が複数（社保、社保扶養・国保・後期）となるため、一概に医療費の比較はできないが、地域での様々な活動を通し、健康意識が高く、健康づくりへの取り組みもされていると考えられる。老人クラブでは、健康で自立し、身近な仲間と支え合いながら、住みよい地域づくりを推進されており、①地域高齢者の健康づくり・介護予防活動、②在宅高齢者やその家族を支援する友愛活動、③安全・安心の住みよいまちづくりを目指すボランティア活動といった活動目標を掲げ、様々な行事に取り組んでいる。そのため、老人クラブの皆さんは、心身ともに健康であると何われる。

今後も市は継続して老人クラブの拡充事業を支えていき、さらに、年代に応じた健康診査、歯科検診、がん検診への受診勧奨も含め、健康寿命の延伸への取り組みを進めていく。



## 【経済建設常任委員会関係】

①菊池渓谷の中央駐車場について、最近の話であるが、休みの日は開いているが有料となっており、その他の日は閉めてある。目的は何だったのか。何で入れないのか。また、トイレのひとつづつぐらい作るのが当たり前ではないか。

### （回答）

菊池渓谷中央駐車場は、「菊池渓谷を美しくする保護管理協議会」が国有地を借り受け、繁忙期（7月～8月の夏休みシーズン、10月～11月の紅葉シーズン）の土曜日、日曜日、祝日のみシャトルバスを運行し、有料にて利用していただいている。

繁忙期以外を閉鎖している理由は、熊本地震により中央駐車場から菊池渓谷へ抜ける遊歩道が通行禁止になっていることや熊本県道45号阿蘇公園菊池線には歩道が無いため、徒歩での菊池渓谷への来谷が危険なことから、シャトルバス運行日以外は中央駐車場を閉鎖している。中央駐車場閉鎖時は、第1、第2駐車場の利用をお願いしている。

トイレの設置については、中央駐車場の土地の所有が国であり、本来は土場等として森林管理署が管理しているものを繁忙期に限り借り受けていることから市としては、トイレの設置は計画していない。

②3年前から火葬場近くの養豚場は、糞尿の垂れ流し状態である。市役所農政課や保健所に伝えたところ、水質検査も行ってあるようだが結果は聞いていない。地下水の汚染につながることを危惧している。現状を見ていただき、どうかしてほしい。

### （回答）

この件については、昨年7月、農場主・県を交え尿処理方策等について指導・検討してきた。

また、随時パトロールも行い、監視を続けてきたところである。

特に平成29年度（11月14日）に実施した処理水の水質検査結果では、既存の浄化処理施設の機能が十分果たされていないことが確認されたため、平成30年8月下旬に、処理施設の一部改修として固液分離機の新設及び浄化槽の設備更新がなされた。

それを受けて、11月21日に再度水質検査を行い12月10日に検査結果が出たところである。昨年度の検査結果からすると、かなり改善されているが、一部規制値をクリアできていない項目もあった。

今後においては、浄化槽の改修後間もないことから、機械の調整期間等が必要なことや、県での検討結果も踏まえ、市として対応していきたい。



# 議会報告会 意見交換会

今回より、新たな取り組みとして開催した意見交換会（11/21）では、菊池青年会議所、JA 菊池青壮年部、菊池市商工会青年部、菊池白龍會、菊池市青年団、菊池市 PTA 連絡協議会、菊池市消防団の7団体から参加していただきました。

6つの班に分かれ、班ごとに設けられたテーマに沿ってワールドカフェ方式で意見交換を行い、交換会の終わりに話し合った内容を各班から発表していただきました。



## 【班ごとのテーマと出された意見（抜粋）】

### 1班・5班「菊池市のよいところ、悪いところ、将来像」

よいところ…○自然が豊かで食事がおいしい。○福祉分野が進んでいる。（幼稚園、保育園に入りやすい。中学校まで医療費が無料である） ○温泉の質が良い。

悪いところ…○交通アクセスが分かりにくく、交通の便が悪い。○行政地区の色が強く（消防や区役が多い）移住に支障がある。

将来像……○由布院や黒川温泉を参考にし、テーマのポイントをしぼった街づくりを行う。○大きな商業施設の誘致により人口増を図る。○土地の区画整理等を行い、若い世代が定住を考える魅力的な地域にする。

### 2班・6班「団体からの要望」

○イベントが多く、一部のひとに偏るので、見直しや精査をしてほしい。

○地域活性化に関わる方への家族の理解が得られるための環境づくり。

○旧4市町村が、もっとまとまってほしい。

### 3班「投票率を上げるためには」

○若い人の興味をあげる。若い人が選挙に出られるための取り組み（供託金を下げるなど）

○ネット投票と公民館などでの投票を併用する。○小さい時からの教育が必要。

### 4班「菊池市議会の定数、報酬、費用弁償」

定数……○議員の仕事がどんなものか分からないから判断がつかない。○議員数が減ったら一人の議員の負担が増え、その分市民の声が届かない。○土台がしっかり作れたら小数精鋭でも良い。

報酬……○報酬だけで専念できる位あった方が良い。○もっと活動が見える仕組みがないと分からない。

費用弁償……○根拠が分からない。○現状の報酬が安いのでこれでまかなう。○分けずに報酬に含めれば良い。

また、会場で行ったアンケートの結果から「かっちりした感じも良いけど、もっと楽な感じでの意見交換会も良いと思う。小規模でも良いのでこのような機会がもっとあって良いと思う」「とにかく人口が増加しないことには、何も始まらない。各種団体から1名ずつ議員を募ればもっと盛り上がるのではないか?」「このような機会を保育園の保護者など20代・30代の方々と増やしてはどうか。合志、菊陽、大津に負けない活気ある街にしてほしい。それについて色々な方を巻き込んでほしい」「議員が何を考え行動しているか、また結果はどうなるのか教えてほしい」「みんなで菊池が盛り上がるようがんばりましょう」などの意見をいただきました。

この新しい取り組みについては、来年度も開催を予定しています。

議会報告会及び意見交換会でいただいたご意見やアンケートの内容については、今後の議会運営に反映するよう努めていきます。

## 第63回西米良菊池祭 菊池氏の遺徳をしのび、菊池精神を後世に伝える

菊池市の姉妹都市である宮崎県西米良村において“第63回菊池祭”が、平成30年12月1日に西米良村大字村所“菊池公墓前”において開催されました。

菊池市から議長を含めた議員6名と、市長、文化協会の皆さんが参加しました。

菊池祭は、昭和15年に隈府町（現菊池市）住民からの強い要望により、町長として就任され菊池の町を治められた、菊池武夫公の墓前祭です。毎年、菊池武夫公の命日に合わせて行われています。



※西米良村は、16世紀はじめに入山した菊池一族が、その後400年にわたって統括したところで、その郷土を愛する「菊池精神」は今も村民に受け継がれている。

議 会 の 動 き	11月	8	木	南関町議会より行政視察「新庁舎建設に伴う議会システム導入について」
		19	月	北海道南空知町村議会議長連絡協議会より行政視察「地域公共交通対策について」／議会報告会（七城公民館）
		20	火	愛知県大府市議会より行政視察「コミュニティバスについて」
		21	水	議会月例会／議会報告会〈意見交換会〉（菊池市文化会館）
		26	月	議会運営委員会
	12月	1	土	西米良菊池祭（宮崎県西米良村）
		3	月	第4回定例会～21日
		6	木	全員協議会
		7	金	議会審議会
		18	火	議会審議会
	1月	21	金	議会運営委員会
		15	火	議会広報特別委員会
		16	水	熊本県北市議会議長会（山鹿市）
		21	月	第1回臨時会／議会月例会／議会広報特別委員会
		22	火	兵庫県南あわじ市議会より行政視察「畜産振興の現状と課題について」
		27	日	東京泗水会（東京都）
	30	水	議会運営委員会視察研修～2月1日（滋賀県米原市・大阪府交野市）	

### 議会傍聴をお待ちしています！

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、行政に対する一般質問も行います。

日程や一般質問者等の詳細は、議会事務局にお尋ねください。また、3階の議場の傍聴席はバリアフリー対応となっておりますので、本庁1階のエレベーターで3階までお越しください。皆様のお越しをお待ちしております。なお、各支所でも生中継でご覧いただけます。

**12月定例会においては延べ266名の傍聴がありました。**

**3月定例会は2月25日（月）開会予定です。**



### 議長交際費を公表します

議長交際費の平成30年10月1日から12月31日現在の支出状況を公表します。議長交際費は、議長が市議会を代表して対外的な活動をするために必要な経費として認められており、その支出にあたっては、社会通念上妥当と思われる範囲内にとどめるよう努めております。

#### 議長交際費の支出状況

交際費の項目	件数	金額	詳細
会費	6件	39,500円	公的性格を有する団体との協議会費及び負担金
電報代	2件	2,368円	他自治体の長・議長への祝電等の経費
その他	8件	50,920円	他自治体への研修および議長会等経費
計	16件	92,788円	

## 議会出前授業

平成30年10月31日に、議員5名で菊池高校にて出前授業を開催しました。

対象は1年生全員で、市議会の役割や議員の活動について、質疑応答を交え、約50分間行いました。

授業の途中で、選挙の具体的なイメージを抱いてもらうために模擬投票を行いました。「新しい校長先生を選ぼう」という仮の設定で、3名の議員が各々「学力向上に力を入れます!」「部活動が盛んな高校に!」「校則を無くします!」と特徴のある選挙公約を掲げ訴えました。総括として、「50歳以上の有権者は投票率が高く、若い世代が選挙に行かなければ、偏った政策が実行される恐れがあるので、選挙権を得たら必ず選挙に行きましょう」とまとめました。

出前授業後のアンケートでは、「市議会のことが少しわかった」「選挙に行こうと思った」など概ね好意的な意見が多く見受けられました。ただし、「初めて議員をみた」という意見も会場で聞かれたり、「話が難しかった」という意見もありましたので、今回の反省を踏まえ、引き続きこのような主権者教育の場を提供できるよう議員全体で協議しながら進めて参りたいと考えております。

菊池高校の皆様ご協力ありがとうございました!



### 平成31年第1回定例会日程の予定

月日	区分	日 程
2月25日	本会議	開会・会期の決定・議案上程・提案理由説明
(2月26日～27日 休会)		
2月28日	本会議／委員会	質疑・委員会付託／予算決算常任委員会
(3月1日～3日 休会)		
3月4日	本会議	一般質問
3月5日	本会議	一般質問
3月6日	本会議	一般質問
3月7日	委員会	常任委員会(予算決算分科会) ・総務文教・福祉厚生・経済建設
3月8日	委員会	常任委員会(予算決算分科会) ・総務文教・福祉厚生・経済建設
(3月9日～10日 休会)		
3月11日	委員会	常任委員会(予算決算分科会) ・総務文教・福祉厚生・経済建設
3月12日	委員会	常任委員会(予算決算分科会) ・総務文教・福祉厚生・経済建設
(3月13日～17日 休会)		
3月18日	委員会	予算決算常任委員会
(3月19日～21日 休会)		
3月22日	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決・閉会

※日程については変更になる場合があります。

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年の日本国内は豪雨・台風・地震に酷暑とさまざまな自然災害に見舞われた一年でした。被害に遭われた方におかれましては、心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を願っております。

今年も年初から地震が起きましたが、大きな災害がなかったことは幸いでした。

議会広報委員も一新されて今回で3回目の発行となりました。表紙の写真の撮影や選定、そして記事の内容など委員の中で意見が分かれることは多々ございますが、委員長の和やかな采配で楽しく編集が行えています。

本年もいろいろなご意見をお待ちしています。

福島 英徳



### ■議会広報特別委員会■

委員長 / 水上 彰澄  
委員 / 田中 教之  
副委員長 / 緒方 哲郎  
委員 / 福島 英徳